

レバーハンドル錠 (AE同一切欠き) 取付説明書

! 全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい。
取付説明書に従って正確に取付をおこなって下さい。ネジ締付不良、誤った取り付けの場合は、故障の原因となります。

1 扉、枠切欠き

切欠き図に従って、扉、枠に切欠きをしてください。

! 対震ストライクの場合は、別途ご相談ください。

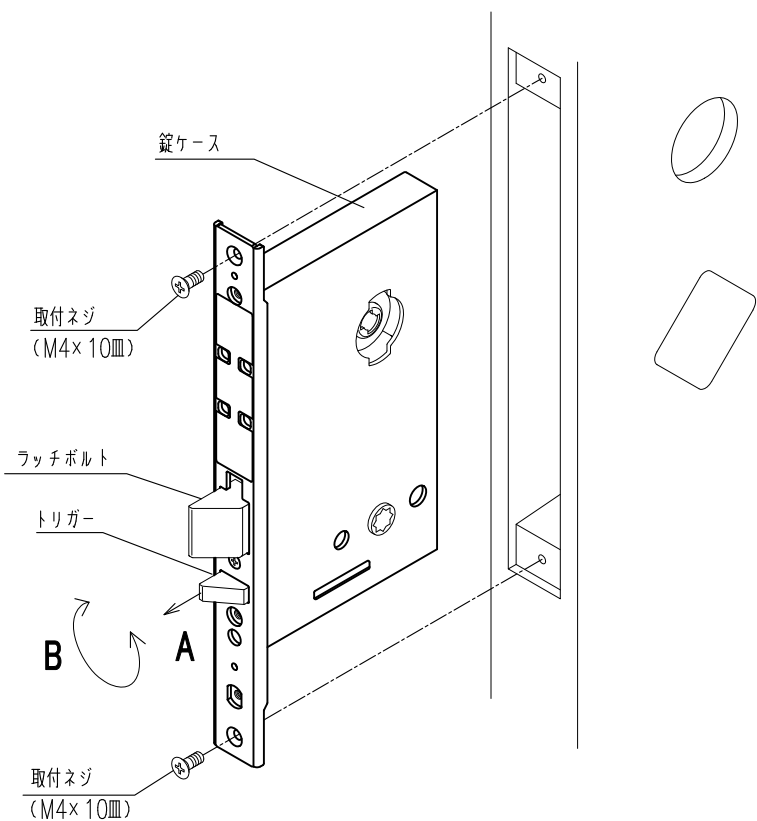
2 錠ケース取付け

1. ラッチボルト、トリガーを扉の勝手に合わせてください。

【方法】 ラッチボルトとトリガーを指で同時に押し込み、ラッチボルトのみを離せばラッチボルトが長く突出します。ラッチボルトを回して勝手に合わせます。トリガーは、A方向へ引張り、B回転方向にトリガーを回して勝手に合わせます。

2. フロントを外し、錠ケースを取付ネジで扉に固定してください。

! 取付時、錠ケースを扉内へ落下しないようにご注意ください。

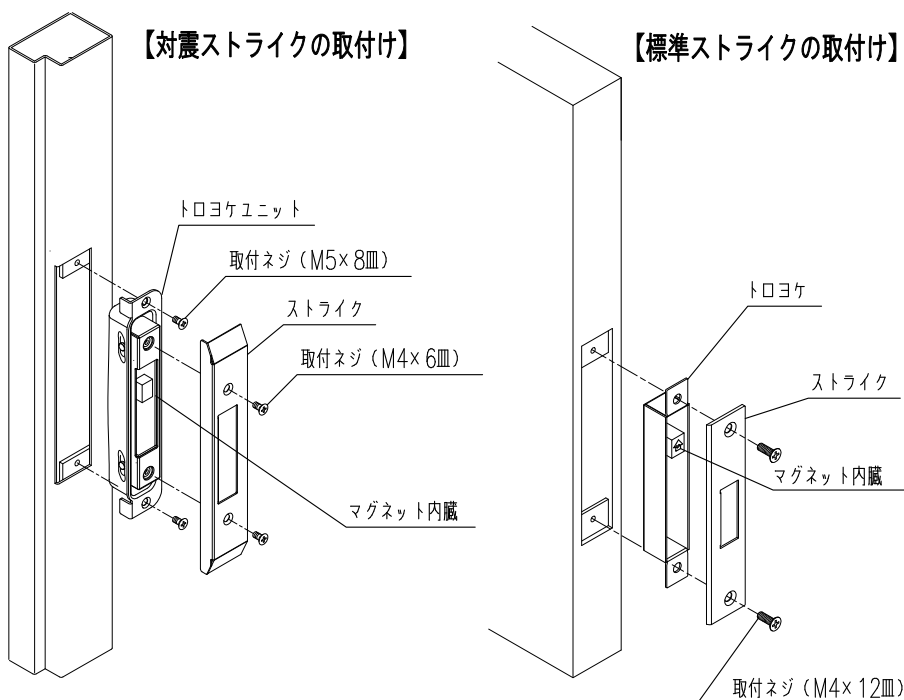


3 ストライクの取付け

【対震ストライクの場合】：トロコケユニット、ストライクをそれぞれの取付ネジで取り付けて下さい。

【標準ストライクの場合】：トロコケとストライクを取付ネジで取付けて下さい。

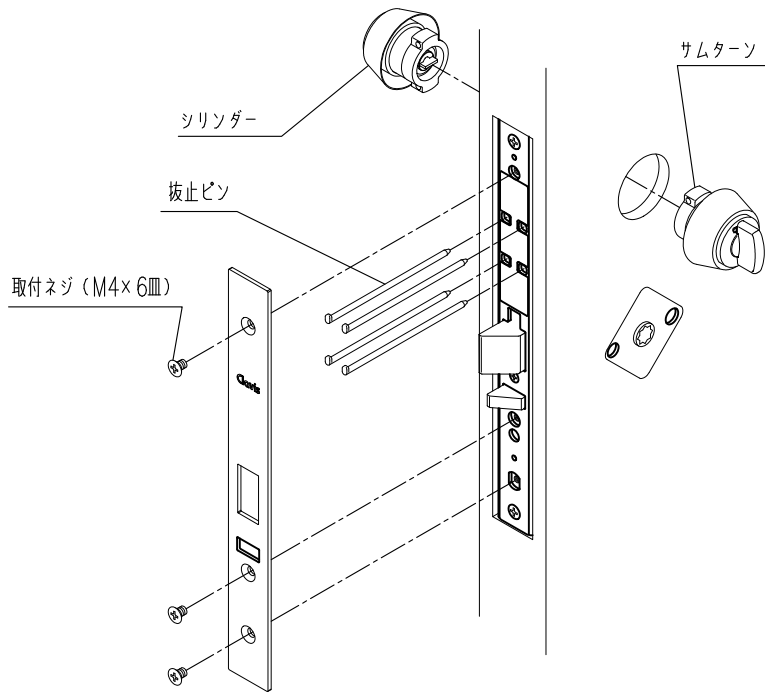
! トロコケは必ずマグネットが上向きになるようにを取り付けて下さい。



! マグネット付対震ストライクには左右勝手があります。取り付ける際は、扉の左右勝手をご確認願います。(本図は、右勝手の場合を示します。)

4 シリンダー・サムターンの取付け

- 「Clavis」刻印が上に見えるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンで固定して下さい。
- フロントを取付ネジで取り付けてください。



5 丸座・レバーハンドル取付け

- 取付柱が付いている外部側丸座ユニットを必ず室外側に取り付けて下さい。
- 角芯部のくぼみ(凹み)側を戸先面にくるように、丸座ユニットを挿入し、丸座取付ネジで固定します。
- 内外共にカバーを取り付けて、ハンドルを角芯に差し込み、止めネジを締め込んで下さい。

